



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <https://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,323	2.0	658	15.1	697	16.1	423	37.9
2020年3月期	18,703	6.8	775	15.1	831	15.3	681	70.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	26.04		0.6	1.0	3.6
2020年3月期	40.56		1.0	1.2	4.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	68,332	66,754	97.7	4,170.34
2020年3月期	69,333	67,872	97.9	4,100.90

(参考) 自己資本 2021年3月期 66,754百万円 2020年3月期 67,872百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	278	183	1,519	38,437
2020年3月期	1,849	298	2,541	39,494

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		15.00		15.00	30.00	500	74.0	0.7
2021年3月期		15.00		15.00	30.00	483	115.2	0.7
2022年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00		123.1	

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	16.5	545	17.2	590	15.4	310	26.8	19.37

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	20,080,480 株	2020年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	2021年3月期	4,073,463 株	2020年3月期	3,529,928 株
期中平均株式数	2021年3月期	16,262,558 株	2020年3月期	16,809,737 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
<継続企業の前提に関する注記>	10
<持分法損益等>	10
<セグメント情報>	10
<1株当たり情報>	10
<重要な後発事象>	10

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により経済活動が停滞し、景気が急速に悪化するなど非常に厳しい状況となりました。段階的に経済活動が再開されていく中で、少しずつ持ち直しの動きも見られるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の波が断続的に訪れており、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況でありました。

このような経済情勢のもと、当社は、お客様及び従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたうえで店舗運営を行うとともに、原材料の買い付けから、製造・販売に至るすべてを一貫して行う「バーティカル インテグレーション システム」の利点を活かした品揃えの充実に取り組み、コロナ禍の状況においてもお客様にご満足いただける店舗づくりに努力してまいりました。

その結果、売上高は18,323百万円（前期比2.0%減）となりました。利益面につきましては、営業利益が658百万円（前期比15.1%減）、経常利益が697百万円（前期比16.1%減）、当期純利益は423百万円（前期比37.9%減）となりました。

主要品目の販売実績は、ネックレス・ブレスレットは6,292百万円（前期比1.2%減）、指輪は5,367百万円（前期比9.2%減）、小物は2,970百万円（前期比0.8%増）であります。

店舗につきましては、TODAY's DIAMONDS TSUTSUMIみなとみらい店をはじめとする5店舗を新たに開設したほか、既存店5店舗のリニューアル及び3店舗の退店を実施いたしました。

（2）当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、68,332百万円となり、前事業年度末と比較して1,000百万円減少しております。これは主に、原材料及び貯蔵品が355百万円、売掛金が266百万円増加したものの、現金及び預金が1,057百万円、保険積立金が149百万円、商品及び製品が142百万円減少したことによるものです。現金及び預金の減少は、主に自己株式の取得、法人税等及び配当金の支払によるものです。

負債の部は、1,577百万円となり、前事業年度末と比較して116百万円増加しております。これは主に、役員退職慰労引当金が134百万円減少したものの、未払法人税等が200百万円増加したことによるものです。

純資産の部は、66,754百万円となり、前事業年度末と比較して1,117百万円減少しております。これは主に、自己株式が1,059百万円増加し、利益剰余金が68百万円減少したことによるものです。利益剰余金の減少は、当期純利益の計上に伴い増加したものの、配当金の支払に伴い減少したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び投資活動によりそれぞれ278百万円、183百万円の資金が得られ、財務活動により1,519百万円の資金を使用したことにより、前事業年度末に比べ1,057百万円減少し、38,437百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により得られた資金は278百万円となり、前年同期と比べ1,570百万円の減少となりました。これは主に、前年同期において、売上債権の減少433百万円、たな卸資産の減少721百万円、法人税等の支払額460百万円があったことに対し、当事業年度において、売上債権の増加266百万円、たな卸資産の増加314百万円、法人税等の支払額123百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により得られた資金は183百万円となり、前年同期と比べ115百万円の減少となりました。これは主に、前年同期と比べ有形固定資産の売却による収入が80百万円、差入保証金の回収による収入が271百万円それぞれ減少し、保険積立金の解約による収入が211百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により使用した資金は1,519百万円となり、前年同期と比べ1,022百万円の減少となりました。これは主に、前年同期において、自己株式取得のための預託金の増加額が941百万円あったことに対し、当事業年度において、自己株式取得のための預託金の減少額が50百万円あったことによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	97.4	97.9	97.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	45.5	41.3	50.9

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待されますが、感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

宝飾品業界におきましても、企業に対するお客様の厳しい選別が加速する中、市場競争がなお激しさを増すことと予想されます。

このような経済情勢のもと、当社は、お客様満足度の向上を更に推進し、多くのお客様に喜んでいただける店舗づくりに全力で取り組んでまいり所存であります。

なお、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、通期業績予想における売上高はこれまでの計上方法と比較して14%程度減少する見込みであります。この変更による営業利益、経常利益及び当期純利益への影響は軽微となる見込みであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,494	38,437
受取手形	26	26
売掛金	724	990
商品及び製品	12,908	12,765
仕掛品	412	515
原材料及び貯蔵品	1,816	2,171
前払費用	42	38
その他	1,145	947
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	56,564	55,886
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,541	4,485
減価償却累計額	△3,885	△3,884
建物 (純額)	656	600
構築物	63	63
減価償却累計額	△60	△61
構築物 (純額)	2	1
機械及び装置	159	165
減価償却累計額	△141	△146
機械及び装置 (純額)	18	19
車両運搬具	9	9
減価償却累計額	△9	△9
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	1,117	1,091
減価償却累計額	△920	△917
工具、器具及び備品 (純額)	197	173
土地	7,484	7,478
建設仮勘定	101	100
有形固定資産合計	8,460	8,375
無形固定資産		
借地権	152	152
ソフトウェア	205	177
その他	0	0
無形固定資産合計	358	330
投資その他の資産		
投資有価証券	54	56
関係会社株式	58	58
出資金	1	1
前払年金費用	176	164
繰延税金資産	166	155
差入保証金	3,344	3,305
その他	149	0
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,950	3,740
固定資産合計	12,769	12,446
資産合計	69,333	68,332

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	276	184
未払金	26	67
未払費用	423	478
未払法人税等	117	318
前受金	37	59
預り金	17	16
賞与引当金	195	208
その他	190	163
流動負債合計	1,284	1,496
固定負債		
長期末払金	-	44
役員退職慰労引当金	134	-
その他	41	36
固定負債合計	176	81
負債合計	1,461	1,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金		
資本準備金	15,707	15,707
資本剰余金合計	15,707	15,707
利益剰余金		
利益準備金	600	600
その他利益剰余金		
別途積立金	45,610	-
繰越利益剰余金	987	46,529
利益剰余金合計	47,197	47,129
自己株式	△8,133	△9,193
株主資本合計	67,869	66,741
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	13
評価・換算差額等合計	2	13
純資産合計	67,872	66,754
負債純資産合計	69,333	68,332

(2) 損益計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	18,703	18,323
売上原価		
製品期首たな卸高	13,611	12,908
当期製品製造原価	9,110	9,925
合計	22,721	22,834
他勘定振替高	34	90
製品期末たな卸高	12,908	12,765
原材料評価損	0	9
製品売上原価	9,779	9,988
売上総利益	8,924	8,335
販売費及び一般管理費	8,148	7,676
営業利益	775	658
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	1	1
受取家賃	58	51
その他	13	13
営業外収益合計	78	66
営業外費用		
支払手数料	22	27
その他	0	0
営業外費用合計	22	27
経常利益	831	697
特別利益		
固定資産売却益	19	43
投資有価証券売却益	27	7
保険解約返戻金	—	61
受取保険金	13	—
受取補償金	32	—
特別利益合計	93	113
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	62	76
関係会社債権放棄損	75	—
特別損失合計	140	76
税引前当期純利益	784	734
法人税、住民税及び事業税	95	300
法人税等調整額	6	9
法人税等合計	102	310
当期純利益	681	423

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
			利益準備金	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	13,098	15,707	600	45,610	814	△7,059	68,770
当期変動額							
別途積立金の取崩							—
剰余金の配当					△508		△508
当期純利益					681		681
自己株式の取得						△1,074	△1,074
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	173	△1,074	△900
当期末残高	13,098	15,707	600	45,610	987	△8,133	67,869

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	37	68,808
当期変動額		
別途積立金の取崩		—
剰余金の配当		△508
当期純利益		681
自己株式の取得		△1,074
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△35	△35
当期変動額合計	△35	△936
当期末残高	2	67,872

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	13,098	15,707	600	45,610	987	△8,133	67,869	
当期変動額								
別途積立金の取崩				△45,610	45,610		—	
剰余金の配当					△492		△492	
当期純利益					423		423	
自己株式の取得						△1,059	△1,059	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	△45,610	45,541	△1,059	△1,128	
当期末残高	13,098	15,707	600	—	46,529	△9,193	66,741	

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	2	67,872
当期変動額		
別途積立金の取崩		—
剰余金の配当		△492
当期純利益		423
自己株式の取得		△1,059
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	11	11
当期変動額合計	11	△1,117
当期末残高	13	66,754

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	784	734
減価償却費	292	236
減損損失	62	76
差入保証金償却額	8	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	13
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	△134
受取利息及び受取配当金	△6	△2
受取保険金	△13	—
受取補償金	△32	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27	△7
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	—
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△18	△43
関係会社債権放棄損	75	—
保険解約返戻金	—	△61
売上債権の増減額 (△は増加)	433	△266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	721	△314
仕入債務の増減額 (△は減少)	101	△92
未払費用の増減額 (△は減少)	△95	55
預り金の増減額 (△は減少)	△43	△1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22	△27
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	44
その他	9	67
小計	2,239	283
利息及び配当金の受取額	6	2
保険金の受取額	13	—
補償金の受取額	49	—
法人税等の支払額	△460	△123
法人税等の還付額	—	115
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,849	278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	52	20
有形固定資産の取得による支出	△141	△134
有形固定資産の売却による収入	130	50
無形固定資産の取得による支出	△24	△28
関係会社株式の取得による支出	△25	—
貸付金の回収による収入	2	—
差入保証金の差入による支出	△39	△24
差入保証金の回収による収入	364	93
保険積立金の解約による収入	—	211
その他	△19	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	298	183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,092	△1,077
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△941	50
配当金の支払額	△508	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,541	△1,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△394	△1,057
現金及び現金同等物の期首残高	39,889	39,494
現金及び現金同等物の期末残高	39,494	38,437

(5) 財務諸表に関する注記事項

〈継続企業の前提に関する注記〉

該当事項はありません。

〈持分法損益等〉

前事業年度、当事業年度のいずれにおいても、該当事項はありません。

〈セグメント情報〉

当社の事業内容は、指輪、ネックレス・ブレスレット、小物等の宝飾品の製造とその販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、前事業年度、当事業年度のいずれにおいても記載を省略しております。

〈1株当たり情報〉

	前事業年度 (自 2019年4月 1日) (至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月 1日) (至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,100円90銭	4,170円34銭
1株当たり当期純利益金額	40円56銭	26円04銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月 1日) (至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月 1日) (至 2021年3月31日)
当期純利益金額 (百万円)	681	423
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (百万円)	681	423
期中平均株式数 (千株)	16,809	16,262

〈重要な後発事象〉

該当事項はありません。